

「頭骨標本セット（ビーバーセット）」を活用した授業例（小学校）

第2学年〇組 国語科学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

- 1 単元名 どうぶつのひみつをみんなでさぐろう
教材名「ビーバーの大工事」
- 2 単元について
単元を貫く言語活動として、「ビーバーの大工事」を読んで、児童が驚いたり、伝えたいと思ったりしたことをクイズにして紹介する活動を設定する。―他省略―
- 3 単元の目標
―省略―
- 4 学習計画
―省略―
- 5 本時の学習
 - (1) 目標
クイズを作るために大事な言葉や文を探しながら、『木を切りたおすビーバー』を読むことができる。
 - (2) 準備・資料
頭骨標本セット（ビーバーセット）、ワークシート
 - (3) 展開

時間(分)	学習内容・活動	支援・評価
3	1 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">『木を切りたおすビーバー』を読んで、クイズを作ろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「頭骨標本セット（ビーバーセット）」のビーバーが削った枝の切り口や木片を提示して、興味関心を高めてから本時のめあてを確認する。
7	2 木を切りたおすひみつを考えながら、「木を切りたおすビーバー」を音読する。 (1) 個人で音読する。 (2) 大事な言葉や文に線を引く。 ・下あごのするどいは ・おはオールのような形	<ul style="list-style-type: none"> ・ひみつが分かる大事なところを探しながら読むよう声をかける ・大事な言葉や文を探して線を引き、確認しながら再度読むように声をかける。
10	3 クイズにするために、線を引いたところを抜き出す。 (1) 最も興味をもったところや伝えたいことを選ぶ。 (2) 書かれている文を書き写す。	<ul style="list-style-type: none"> ・線を引いた中から、最も驚いたところや興味をもったところはどこかを問いかけ、読みを深めさせたい。 ・教科書の表現と照らし合わせて、ビーバーの頭骨標本を提示し、木をかじるビーバーの歯やあごの様子、働きを理解させたい。
5	4 クイズの書き方や出題の仕方を確認する。 ・クイズの例を見て作り方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・抜き出した文章に言葉を足したり、削ったりしてもよいことを伝え、わかりやすいクイズや答えになるように工夫させる。
15	5 クイズの問題と答えになる文を作ってみる。 (1) 見つけたひみつが答えになる問題を作る。 (2) 書き写した文をもとに答えの文を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「何を」「どのように」「どこ」「いつ」を当てはめると問題が作りやすいことを伝える <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ㊦ ビーバーが木を切りたおすようすをクイズと答えにまとめている。 (ワークシート、発表) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズがまとまったら、ペアで問題を出し合ってみよう促す。
5	6 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・できたクイズをもとに振り返りをさせ、次時の学習について知らせる。

※ 次時は、ペアで交流し、二人で問題を出し合い、アドバイスをしながら問題と答えを修正する活動を行う。さらに新たな問題を作る活動を進める。